

産業特集号



五ヶ瀬町役場
昭和32年1月1日
(第1号)

あけまして

おめでようございます

昭和三十一年一月一日

五ヶ瀬町長 原 田 敏 章

年頭のことば

昭和三十一年の新春を迎え、謹んで御祝詞を申し上げます。

昨年は合併という歴史的な大事業を成し遂げた五ヶ瀬町として、まさに劃期的な年であり、町民の皆様にはまことに御苦勞でございました。又八月一日から新町が発足し、新町経営についてもいろいろと温かい御理解や御同情を頂き、町としてのすべりだし、至極円満に協調の実をあげてまいりましたことは、何としても皆様方の御蔭によるもので感謝にたえません。

このように昨年は合併のためと新町の基礎確立のために、私どもも出来得る限りの努力をいたしましたつもりではございますが、何分にもこれは未だ嘗てない大事業であり、遺漏の点も少からずあったことと存じております。

町財政の現状は次に公表い

五ヶ瀬町の施政方針

まえおき

既に度々申しあげて来ましたが、合併による一体性確立と町勢振興の基本的な心がまえは、町民が相互に譲り合い、相手の立場に立つて物を考えることが最も大事なことであり、こ

たしました通りで、まずこれから健全財政の確立ということが当面の急務であるわけでございますので、その点何分の御理解と御協力を頂かねばなりません。又昨年末には、五ヶ瀬町はじめての産業祭を開催しましたが、これも亦盛大にしかも大きな成果を収め、出品されたものも極めて優秀で技術水準も高く、青年、婦人の研究発表もわれわれの参考となるべき点も沢山ございましたので、この新年号を特集号として審査講評を専門家に御願ひし集録いたしました。日常の御仕事、事の面で座右の手引として利用せられますなら幸でございます。

どうか、合併から引きつ

れが又民主主義の原則だとも思っています。が、部落や個人の利害一辺倒で考えますなら、随分不平や不満もあり、矛盾だらけの点もあるでしょう。然し、もともと合併そのものが全く無理のない自然的社会的当然の帰結として生れたものばかり

りとはあながち言えないのでありまして、そこは困の要請、時代的な要請という大乗的な見地に立つての住民の皆様の御理解があつたことを度外視してはならないと思ひます。それぞれの地区に於ける長い歴史的、伝統的生活慣習のちがいが、行政圏での歩みのちがいが、合併による同一の生活圏、同一の行政圏のもとで直ちにいろいろの仕事を實行していく場合、何等の懸念なしに万人が満足を得るような解決を一挙にして得ることは考えられませんが、すくなくともそれらの矛盾の中での私達が、相互に諒解点に達する為には相手の立場になり変つてとく

昭和三十一年度五ヶ瀬町才入才出予算の概要

才入	才出
1、町税	11,400,000
2、地方交付税	8,200,000
3、公企業及財産収入	10,110,000
4、分担金及び負担金	1,210,000
5、使用料及び手数料	11,100,000
6、国庫支出金	1,750,000
7、県支出金	1,100,000
8、寄附金	8,000
9、繰越金	1,000,000
10、雑収入	1,250,000
11、村債	1,200,000
計	56,000,000
	100.00%

とその事情を洞察するだけの良識を以て望んで頂かねばならないと考えます。申すまでもなく町議会はこうした町民の良識を反映する権威ある機関でありますので、大局的立場に立つて、充分協調されることを望んでいますが、又新町の健全な発達育成のために町民の皆様方の充分な関心と御協力を御願ひしてやみません。

新町予算の編成に当って

新町予算の編成がいさゝかのびのびになりましたことを御詫び申しあげます。新町発足にふさわしい充分意欲的な構想をこの度の予算では盛りこみたいと、又皆様の御期待にもそいたいと考えておりましたが、後に申し述べますように財政の事情は意外に窮乏を告げ、既に常任委員長会でも二回に亘つて、ありのまゝを示し御賢察を願つた次第であります。そのため議長さんをはじめ、二、三の方にも二回に亘り出県を御願ひし県当局とも交渉に當つて頂いたのですが、既に年度半ばのことでもあり、年度当初に於て計画されていた事業で実施中のものもあり実施すみのものもありその上、合併による特別支出もあり、特定の収入の中に、いかにこれらの経費を収めていくかということだけで苦慮した様な次第であります。

才	出	計
1、議	費	九六、五〇〇
2、役	費	二、四八、〇〇〇
3、消	費	二、四八、〇〇〇
4、土	費	一、四〇、〇〇〇
5、教	費	二、四八、〇〇〇
6、社	費	二、四八、〇〇〇
7、保	費	二、四八、〇〇〇
8、産	費	二、四八、〇〇〇
9、財	費	二、四八、〇〇〇
10、統	費	二、四八、〇〇〇
11、選	費	二、四八、〇〇〇
12、公	費	二、四八、〇〇〇
13、諸	費	二、四八、〇〇〇
14、予	費	二、四八、〇〇〇
計		一〇〇、〇〇〇

施政方針としては、既に申しあげておりますように、本町の特殊事情から林業の振興をまずとあり、郷土の恒久的発展の基礎づけとしたいと考えております。最早木材は建築材としての用途から一歩進んで、科学の発達に伴う多面的な利用拡大の段階になりましたので、木材の資源価値は絶対的なものとなりつゝあります。

山林資源の造成は、治山治水対策の上からも、美しい住みよい理想の郷土建設を願うわれわれの当然の使命でありますので、住民の皆様の絶大な御理解と、認識を得るよう努力したいと思っております。最近、民間運動として盛りあげられて参りました愛林クラブの誕生は時宜を得たものと考えますので、側面的にこれを応援し、漸次森林組合の一体化、育成強化をはかるよう組合員の理解を御願いし力添えをしたいと思つております。今後西地区森林組合の内情を充分研究した上で漸次対策を樹て、行き度いと考へております。

尚合併記念植樹として、一人十本以上の植栽を是非実行するよう具体案を練つて運動を展開したい考へております。

次に町民の健康増進の問題であります。

民生課の所管に属する事項ですが、生活保護対象家庭の直接の動機要因は、家族の長期療養疾病のためによ

るものが多く、なかでも結核が多いのであり、貧困と病気の悪循環から来ております。折角結核予防法による結核の早期発見が、結核検診等によりなされる仕組みにはなつていますが、これに対する町民の理解や認識の程度は必ずしも良好とは言えず、受診率は極めて低いのであります。町民全部が検診を受ける様義務づけ、早期発見によつて、初期に於て充分の手当てをうけさせ、長期療養に持ち越さない様にすれば、患者の負担を軽減する許りでなく、家族感染を防ぐことになりま。

援護家庭の厚生保護指導については物心両面に於て充分民生委員の方に骨を折つて頂かねばなりません。行政の恩恵をひとしく低い階層に及ぼし、その他の施策と相俟つて総合的に解決して行かねばなりません。環境衛生については、新生活運動と相俟つて、保健所の強力な指導もあり、住民の理解のもとに向上の跡が見えつゝあることは喜ばしいことと思ひますが、予防接種の励行によつて伝染病の完全撲滅を期したいと考へております。

次に道路交通網の整備ですが、合併による一つの重大眼目であり、県や国に要望して出来るものはこれを大いに促進する様に努力し、一日も早く道路の整備を計り度いと考へていま

す。懸案の国道改修（つばな越）、笠部線の貫通促進、赤岩―細島港線の貫通促進、元屋敷林道の整備等、重要案件が山積してはいますが、現在の所、国や県関係でも好意を与て理解して頂いておりますので着々機会を捉え手を打つて行きたい考へております。

まず財政の建て直しを急務

以上は構想として申し述べたのですが、新町予算の極めて窮乏な編成のなかで、その片鱗なりとも織り込みたいと精一杯の気持ちで望んだのですが、更に具体的にあらゆる角度からこの構想を検討し、まずこれからの問題として財政の建て直しが重要であり、財政を健全な軌道にのせるよう努力しつゝ漸次実行にうつして行きたい考へてあります。こうした考へ方に立つてその実現化と更に新町建設計画に盛り込まれた事業、その他本年度当初予算から計画されているものを採りあげ予算の編成に着手し、一応の骨組を作つたのであります。

才出合計六一、七六千円才入合計四三、六六七千円差引不足額一八、〇九四円という結果が出たのであります。私としてはこうまで苦しい財政状態であらうとは考へてはいませんでしたので正直な所全く驚いたような次第であります。

この措置について九月二十四日、正副議長、正副常任委員長を開き研究を願つた所、先にも申しましたように県に對して援助措置を講じて貰うよう要望することになり、町長の私と議長が出果し、その筋へ要望した様な次第であります。

その結果、新町建設計画書に計画された事業費で国が認証した事業、及びその他の事業で起債に該当するものには起債を百パーセントつける。通常起債のワクは四〇パーセントから五〇パーセントであるが、合併町である為にこれは認められたのでありますが、その他についてはどうにもならないから事業を繰延べる

か、縮少するか町で充分研究してほしいという県の話であり、この結果に基づいて更に検討したわけであります。

具体的には

- 1、災害復旧費以外の事業で未着工の分は繰延べる。
- 2、建設計画事業中単独分は繰延べる。
- 3、消費的経費三百万円を削減する。
- 4、旧三役退職金について引続き本町職員として勤務する者の退職金は支給を繰延べる。
- 5、税の完全徴収を期する。

以上で立案しました所約一千万円の不足額を生じたのであります。そこで十月六日、更に第二回正副議長、正副常任委員長を開いて御検討を願つたところ、もう一度出果しして事情を訴え協力方を要望しようということになり、町長、議長、小西、利光、松崎委員長が出果し、地方課、総務部長、副知事、知事に懇請したのであります。が、県としては、事情はよく解るが、既に出来得ることとは百パーセント見であるのでこれ以上はどうにもならないというのであつたのであります。

町長としては議会の協力を得て出来得る限りの方策を講じたのでありますけれども、これ以上の方策が立ちませんので、前に述べました事業繰延べ、物件費節減等を更に研究して予算案を編成した次第であります。就任当時に予期しないこうした事態が生じまして、予算の編成が遅延した様なわけであります。

一般会計予算案の概略

一般会計予算案の概略を申し上げます。

- 事業費の計が
- 三一、五二九千円で
- そのうち
- 建設事業費が
- 二七、六四一千元で
- その他の事業費が
- 一二、八八八千元
- となつていますが、その財

源の内訳は、

国庫補助

一五、〇四一千円

起 債

七、六〇〇千円

一般財源

八、九一五千円

消費的経費は

二四、五三三千円で

才出合計五六、〇四二千

円となり

才入総額は

四五、八四二千円

差引不足一〇、二〇〇千

円となり

不足額の内訳は

投資的経費

八、九一五千円

消費的経費

一、二八五千円

この不足財源をどうするかに就ては随分悩んだのでありますが、何故こうした不足財源を生じたかに就ては、昭和三十一年度の当初予算が編成されたとき、既に旧三ヶ所村に於ては四百五十万円、旧鞍岡村に於ては百五十万円計六百五十万円の村有林売却が予算されていたこと、更にその後合併協議に要した諸経費、合併に伴う必要経費約百五十万円、旧三役の退職金百六十万円、建設計画事業費の国

五ヶ瀬の輝く受賞者

黄綬褒賞の輝く名譽を獲得された小笠直一さんは、大字三ヶ所兼ヶ瀬の人で、昨年十月八日総理大臣官邸で行われる授与式に案内があつたが、健康が許さないので辞退されたので、産業祭当日、県知事による授与式が行われた。この写真は、そのとき撮影したものである。

小笠直一さんは稀に見る人柄の円満なお方です。人々から尊敬されておられますが、郷土産業の先達として、先覚者の衣鉢をつぎ、茶業は勿論、林業、畜産方面にも貢献され、自家の農業経営も合理的に前進的な



→黄綬褒賞の喜びに輝く小笠直一さん御夫妻
この度本町から小笠直一さんの様な名譽の人を出したことは、ひとり小笠直一さんの名譽にとどまらず本町の名

農業をされています。既に小笠式の製茶機械は人のよく知る所であるが、茶園の増殖、製茶技術の改善、合理化にも努力され、郷土に於ける今日の茶業に強い影響力を与えて来られました。

補、起債以外の所要額、その他の事業費で既に着工されているもの、どうしても本年度実施しなければならぬ事業費等々、旧両村の合併に伴う一体性を確立する為の財政需要が増嵩して、前に述べたような財政規模となつたわけであります。従て、冒頭に述べましたような町長の施政方針の片鱗として、新町予算に織り込んだものとして、
①杉の投穂林を設置すること。
②結核予防費を特に組込んだこと。
③要援護家庭を対象とする「かまど」の改善助成の三項目ですが、
①に就ては、よい品種の杉苗の自給自足を早急に計る必要があるため、これに備えるため、④の要援護家庭の厚生保護を生活改善の面で、さ、やかではあるが、厚生への希望を与えるよう考慮したこと。
以上、予算編成に當つての町長の苦衷を諒とされ、まず財政の建て直しに何分の御理解と、明るい町づくりへの御協力を願つてやみません。

啓であります。
又小笠さんは郷土を愛する念強く、郷土産業の背骨として働いて頂いたばかりでなく、昭和四年から昭和十八年まで、十八年間も村議としての公職にあり村の自治功労者としても見のがすことの出来ない人であり

各種品評会の審査講評を

お届けするに当りて

経済課長 後藤 勝

昭和三十一年度各種品評会の褒賞授与式を去る十二月二日本町第一回産業祭表形式に於て盛大に挙行出来ましたことは誠に御同慶に堪えません。

各種品評会の実施について町民各位の熱意ある御理



三ヶ所坂本の成松さん（左）

約四石八斗どりで九州ブロッカーの内報があつた

ます。又昨年の三月は村の遺族協会の会長として働かれた功績により財団法人日本遺族会から表彰をうけられました。
郷土の先達である小笠直一の御健康と、御一家の繁栄を心から念願します。

施を行い度いと考えます。水陸稲の多収競争は本町第一回の催しとして大きな期待をもたれたのでありますが、水稲については、反当収重二百九十三貫匁と云う鞍岡の萩原部落甲斐雅光氏の成績等従来見られな

解と、各種機関、団体等の絶大なる御協力に依り極めて有意義にその目的を達し得たことを茲に改めて深甚の敬意を表する次第です。
この度各種品評の審査報告を収録して町民の皆様にお届けするに当り所感の一端と、お詫びを申し上げます。

本年度農作物の圃場品評会は麦類、粟種の立毛品評会及び水稲、陸稲の多収競争会を実施したのであります。作会が、麦類、粟種は三ヶ所地域のみに止まりましたが、来年度は町全域の実

向本年は全国多収競争作に参加された坂本部落の成松宇一氏の稲作が現在まだ正式発表はなされておられません。九州一位の有力候補となり、九州ブロッカー優勝授賞の可能性が強いと云

う誠に本町にとつて榮譽ある朗報も伝えられており、斯うした稲作増収技術改善の研究を是非開催したいと考えて居る次第です。

次に林業品評会に就いて見ますと、町全域として成樹林、幼令樹林、苗圃について実施したのであります。一部林業熱心家は別として一般的には関心が稍々足りなかつた感があり、林業王国を目指す本町としては出品点数も比較的に少かつた様に思われます。

しかし、新町初回の催しでもあり又私共当局者としての啓蒙宣伝等にも手落ちの多かつた事を反省し御詫びせねばなりません。今後これ等の催しについては特は林業振興の重要性に鑑み町品評会の大きな催しとして、大きくその推進をはかり「適地適木」の強く要請される時にあたり樹苗の養成、林地の手入れ等林業意欲の昂揚に努めて参り度いと存じます。

堆肥増産については例年実施の方法をその儘として増産実績の調査を町内全農家について行い、一部には大へん優秀な農家や部落も見受けられたけれども、全般的には増産の実績低調なものが感ぜられ農業増産上大きな問題として強く反省を促されるものがあります。

次に産業祭に於ける陳列品評会のことについて申し上げますと、本町第一回の催しとして極めて準備不届きであつたにも拘らず、その成果は認むべきもの、多かつた事を慶ばしく存じます。

しかし、この行事についても今後改善する点が多々あることは勿論であつて、そうしたことにについては将来町民各位と共に充分研究して参りたいと存じます。

美術品、参考品、学芸品、活花等を除いた陳列品評会の出品物の種目毎の出品点数を調べて見ますと

穀類	一九三點
農産加工品	一三〇點
園芸農産品	三八四點
林産品	一二點
葉たばこ	七〇點
一般工作品	七二點

裁縫手芸品 一一五點となつており總体の出品点数としては少いものではありませんが、種目的に見ると林産品の如きは山村の出品点数としては非常に淋しいものが感ぜられる訳であります。

大字別	出品点数	入賞点数	入賞率(%)
三ヶ所	八五	三三	三七・七%
桑の内	三二	一〇	三一二・三
鞍岡	三八	三九	四八・二

次に青年婦人関係の方々によつて行われた産業生活改善等の研究発表の催しはその機会として産業祭に最もふさわしいものであります。が、万難を排して積極的に御協力を戴く御熱意に對して心からなる敬意を表する次第であります。

毎日／＼の実生活を通して研究を続けると云う努力は並大抵のものではないのであります。こゝから生れる尊い資料は産業の発展、生活の改善にとつて偉大なる貢献をもたらすものであることは申上げる迄もないことです。本年度の研究発表は発表者も多数に昇り又、内容的にも充実したものが多く聴講者も又あの広大な中学校講堂に溢れる

実、出品物の向上に努めるべきであつて本町にふさわしい特産的価値の高い創意工夫による郷土色豊かな出品物の陳列に努力して参り度いと存じます。

次表は陳列品、農作物園場品評会、林業品評会等總体のものであります。が、御参考にして戴きたいと思ひます。

大字別	出品点数	入賞点数	入賞率(%)
三ヶ所	八五	三三	三七・七%
桑の内	三二	一〇	三一二・三
鞍岡	三八	三九	四八・二

熱心さで、この催しが如何に意義あるものであるかを感ぜさせられた次第です。尙この催しには、中学高次の生徒も参加され郷土発展にふさわしい研究の発表が行われました事は更に一段とその意義を深めたものであります。青年、婦人、学生諸氏の今後の御努力とこの催しに對する町民各位の一層の御関心御協力を希望致します。

最後に審査員各位の御芳苦に對し、深甚の謝意を表しますと共に、私共係員の不届きながらあつた点を深くお詫び申上げ、町民各位の今後の御協力と御鞭撻を御願ひして止まない次第であります。

造林品評会の審査感想

林業技術員 技師 松井 徳 男

第一回五ヶ瀬町の産業祭に出品された林業関係の出品物は九〇点を越える数で、如何に林業が近年さかんになつて来たかが伺えるのであります。

昭和三十年における、郡内の造林を、森林別に見ると旧三ヶ所が二五五、三二町歩で最高になつており、旧鞍岡の一八三町歩で二位になつております。こんな調子で十年間頑張りながら相当な人工植林地をみる事になるわけです。

成林について

地スギの場合、第一回の間伐がおくれ気味な点があつたかのように思われます。

幼令林について

御承知のように、現在適地適木という言葉が盛んに使われ且つこの事が、如何に重大であるか申すまでもありませんが、スギを植付ける場合、どんなところに、どんなスギを植付けたら良いのかという事から考えなくてはならないわけになります。何時も申し上げるように、それには、スギの性質を知ることが、熊本の林業試験場におられる石崎技官のいわれる通り、先づ、早生系、晩生系を知ることによつて、適地を知り植付けるよう心がけたいと思ひます。

次に手入れであります。が、植付後四年生までは、年に二回の手入れ(下刈)は行ないたいものです。特に下草の繁茂する場所はなおこの事が云えるわけについて又「つる」が着きやすい場合には「つる」を切つてやるのは絶対であります。が、応々にして胴廻虫のために枯れる場合があります。これは、コウモリ蛾又はマダラコウモリ、という虫が、茎に穿入し、スギの幹に移動して喰害するわけですから、それで「つる」は切るだけでなく除去することをお忘れではありません。この被害は割合に多いのではないかと思います。

苗畑について

苗畑の位置が不適であることを先ず申上げます。

農作物と同じで、山林苗畑も日光、通風、湿度、凡ゆる点を勘案して位置を決定すべきで、スギ苗を作るのだからという軽い気持ちでやらない事だと思います。最近、自家育苗はどこでも見られることで、大変嬉しい事だと思つております。しかし、いまだ管理などに手落ちがあり、根本的な、採種から間違つてゐるようになつてゐる。

例をあげて説明するわけにはゆきませんが、第一に位置の選定の誤りがあり、風当りの強い場所など特にきつたいと思ひます。日当りのよいところで、水分のあるところを選ぶこと。要すれば南向きという事にな

ります。
採掘する母樹は、七、八
年生から二〇年生で何時も
日光を受けている部分の健
全なものを選ぶこと。
活着をよくする為には灌
水などに心がけ晴天が一〇
日以上続く時には、水を引

林産品審査の概評

林産物検査員
技師 木下秀吉

五ヶ瀬町発足第一回の産
業祭に当り多数の出品のあ
りましたことは誠に喜ばし
い次第であります。猶相当
数の良品の出品には特に御
慶び申し上げます。
審査の結果今後特に重点
を御願ひ致したい事を申上
げますと木炭については四
一、正味量目については四
貫に五分の目足しを完全
動行されたい。
二、選別に当つては今一段
の留意が必要である。
三、黒炭生産については製
煉不足のものがあるので
製炭技術の研究に努力さ
れたい。
四、俵装について細が少し
大きい事と小口札の記入

茶園審査報告

県農業試験場高千穂試験地
技師 前田喜久美

茶は本町の特産物として
極めて重要な役割をなして
いますことは、今こゝで述
べるまでもなく、その熱意
に對しましては深く敬意を
表すところであります。
しかし現下の茶業は生産の
増大に伴い内外共に決して
樂觀を許されないものであ
りまして、その根本をなす茶
園品評会の意義は一段と大
きな存在となるのでありま
す。
さて、本年の出品は樹令
が四年生以下の幼木茶園を
対象としました関係で総数
三一点であり、いさゝか寂
しきを感じましたが、出品
は全地域に及ぶところとな
り審査は十一月二十四日か
ら三日間管理に重点をい
て厳密公平に行ひ合議の上
決定しました。
審査に當つて感じました
ことは、生育は概して順調

いてやる位の親心が大切で
す、造林の手入れなどに比
べ苗畑の管理は幾分低いの
ではないかと思われてなり
ません。この点については
皆さんと共に多いに勉強し
たいと思ひました。

の動行等商品価値を高め
る心掛けが必要である。
五、炭炭の規格が不統であ
るので必ず左記規格寸法
のものを使用されたい。
1、俵の長さ一尺八寸
2、胴廻り三尺八寸以上
(二百五十匁一三百匁
未満のもの)
椎茸については年毎に申
上げますように採取期が遅
れ気味でありその上日乾時
が長いため折角の良品が香
気色たくを失ひオサ倒れを
来たしますので、採取期、
乾燥に充分の注意を払われ
る事が望ましいのでありま
す。
右審査の概評を述べて御参
考に供します。

な歩みを見ておりますが、
地域によつて格差が管理面
に於いて相当認められたこと
であります。
今後特に改善を要する問
題として二、三述べます
と、幼木茶園は収入に期待
するところが少いため適度
の間作物により収入を補う
ことは勿論であります。が、
間作物の収穫後に於ても秋
肥の施用はもとより、除草
すら行われていないものが
可成り見受けましたが、こ
れらは常日頃の心掛けが大
切であります。
病虫害についても区々に
見受け窒素質肥料のみの施
用にも原因が少いと思われ
ますので常時発生すると
ころは施肥の改善と共に予
防を怠つてはなりません。
次に敷草は雑草防除、有機
質の補給等、土壌保全の上
から施用を必要とします

が、一部の茶園を除き殆ん
ど行われずそのため雑草が
多くなつていたようであり
ます。
その外既に摘採期に達入つ
ている三、四年生にして密
植しているものがあります
ので、不良芽は必ず間引き
を行つて優良茶園の造成を
図ると共に優良品種の増改
植の必要性は論を俟たない

裁縫手芸品審査感想

定時制高校
大賀きぬ

五ヶ瀬町発足初めての産
業祭は当局の忠実懇切なる
指導と町民の熱意ある努力
に依り盛大に且つ充分なる
成果を挙げて終了しました
ことをおよろこび致しま
す。
私達はそのうち裁縫手芸
品の一部を拝見させて頂き
ました。
勿論産業祭の目的よりし
てその技術の巧拙を問はず
町民一般の方々が昨年より
も今年、今年よりも来年と
作品を多数提出され自然に
裁縫手芸品に興味を感ぜら
れ逐次その技術を磨かれる
ことが望ましいと思いま
す。従つて自分の作品を一
般多数の皆様に見て頂き又
一方他の人々の作品をよく
見て自然に工夫努力して向
上されんとする心掛けこそ
大切ではないかと思われま
す。
次に出品物数の内訳と私見
を述べさせて頂きます。
一、出品総数 一〇〇点
内訳
裁縫品 四一点
手芸品 三五点

研究発表講評

教育長 甲斐忠四郎

今回は合併後第一回の研
究発表会なので、その成果
が期待されていたが、各人
の発表はその内容、発表態
度、科学性、実用性等の点
に就て昨年よりも一段の進
歩のあとがみられ、特にそ
の地域の現状に即した問題
が取り上げられた事は研究
発表が地域住民の生活の中
にとけ込んで行きつゝある
ことの証拠で本當に喜ばし

ところでありまして、現在
の茶園の肥培管理を行い、
優良生葉の生産を図られる
よう切望して止みません。
終りに当り大石部長が全
般的に優位を納め、鞍岡地
区の出品は少数ながら三ヶ
所地区に伍して総てが入賞を
見たことは特筆すべきこと
で今後の茶業振興に努めら
れん事を切望いたします。

編物 一一点
更生品 一三点
以上が出品物の内訳です
が、昨年三ヶ所村のみにて
行われた産業祭に出品され
たものと比較してみますと
出品総数は非常に小く約半
数の様に思ひました。然し
その内容は非常に多種多様
に分れ、單なる裁縫手芸品
でなく時代の要求に応じた
アクセサリ的なもの、又、
創意工夫がなされた実用的
なものが非常に多くその技
術と努力には著しい進歩を
感ぜられました。
世の進歩、生活の向上と
共に色々と手芸品に裁縫に
工夫が凝らされ又婦人雜誌
等の出版物には殆んど此の
様な記事がありますので容
易に勉強が出来ることは有
難いことですが、私達も一
方廃品等の加工修理等を工
夫して作業衣に或はふだん
着に之を応用してゆくこと
の必要を痛感しました。又
編物研究所より多数の参考
品を出品して頂いた事は大
へん参考になつた事と存じ
ます。

い現象であると思われる。
今後の研究発表がより以
上に大きな成果が上るため
に氣の付いた点を御参考迄
に述べると次の様な点であ
る。
一、資料の準備が完全でな
い。
一、資料の説明が不充分で
ある。
一、音声が低い。
一、説明が朗読的である。

農作物、堆肥、園芸 農産品、農産加工 工作品、雑穀 審査報告

三ヶ所地区農業改良普及事務所

主任 佐藤 善美
技師 西山 五朗
技師 内勢 房夫
技師 矢野 すすま

一、水稻

本年の五ヶ瀬町の水稻の出来栄は全般を通じて余り良くなかった様です。それは立毛の時は平年作の様な水稻も刈取脱穀調製と作業が進むにつれて穂先が軽い、しえが多い等で結局収量の数が少なくなつてくる、農業をしていける者にとつてこれぐらい心細い事はありません。

私達が審査しました町競作会出品田の殆んどが保温折衷苗代による水稻であつたことは、如何なる不良天候の年でもその悪条件を克服して立派な収量を得ることが出来ること云う事は既に皆様充分に御承知の事と存じます。

その保温折衷苗代で成松宇一さんの九州ブロック一が出た又町の優等では一坪刈で五石三斗（荻原、甲斐雅光さん）の収量が得られています。

次に収穫期前後を十二号台風で大被害を受けた後植（水苗代）の事に少しふれておきます。御承知の通り本県の奨励品種はその殆んどが晩生か、中の晩生が多いのでこの品種を本町の様な寒冷地にて栽培すると云う事自体が無理をしていて、台風の災害或は冷水による青立ち等種々の障害になやまされております。

私達も三十四年前より二毛作田に向く適品種をさがしていましたが本年ようやく適品種が見つかりこの品種なら皆様にお奨めしても良いと思われる早生品種を見出しました。

この品種は農林二十二号、二十九号、三十七号等です。

この品種でありますと五月十日播種、六月十二日田植或は五月十五日播種六月十七日二十日田植で本年の台風十二号が来襲した九

りも他の地区よりはるかに上位を占めた事がうかがえます。

一、小麦

栽培が振わない原因は市販に小麦粉やパン類が進出し比較的安価で入手出来ること云うこともありすが、現在栽培されている小麦品種が農林三十六号の様な晩生、長稈である事も大いに関係しています。この適品種も現地試験圃等で毎年さがして見ますが未だ見つかる事が出来ずにあります。

二、大麦

殆んどが最近奨励致しました旭十九号のビール麦で旭十九号を入れてから僅か二年にしかありませんが急速に普及して今や大麦の大部分の品種がこの旭十九号一色に塗り変えられ様とされています。

この事はやはり前に数回述べた労力の配分や経営の合理化がスムースに行く早生品種を全農家の方々が待望していた処に出現した為です。

然し乍らビール麦は他の作物と異り非常に吸肥力が強いので田畑がやせますのでこの点後作は特に留意すると共に連作はさけるようにして戴き度いと思ひます。

尚煙草の前作としては吸肥力が強い上に煙草の肥料を吸収して成熟期が遅れ煙草の為には悪い結果になりますので、無肥料栽培をして戴き度い。

三、菜種

本年の菜種作が低調であつたのは苗床期の台風災害により良苗が得られなかつたこと云う事が大きく原因になっています。審査の結果では最高二石五斗前後で、例年に比し三十四割反収は低かつたと見ております。

菜種栽培も種々の障害により栽培法も進歩変遷して来ています。

普通栽培より若苗早植法から直播栽培へと。

次に病害の方を見ますと、最近の苗床期の激発は草種作の一大障害になつており、之が撲滅を計らなければ、菜種の増収はとうて

い望めない事態に立到つておりますが現在の処適切な防除の方法がありませんので之を直播に切替える事に依つて病害防除と増収が大いに期待されます。

尚直播は育苗期間の障害がなく輪作関係としても春とうきびの後作に充分利用出来ますので好都合です。

品種はやはり農林十四号が本町の適品種です。最後に以上を通じ畑作地帯のこの様な輪作による畑作経営は如何ですか。

季 別	春 夏 作		秋 冬 作		春 夏 作	
	トウモロコシF1 播 種	→ 収 穫 菜種直播	落花生定植 → 収 穫	菜種直播	トウモロコシF1 播種 穫	→ 収 穫
作物名						
月 別	6月上旬	10月上中旬	5月中旬	10月上旬	5月中旬	10月上中旬

三、堆肥の増産

全体的に見て堆肥増産の低下している中で、高畑、川曲等特に増産の熱意の顕著であることが認められ、その実績も飛躍的な増加を見た部落のあつた事は慶びに堪えない次第であります。

限られた農地より年々の増産を図るためには恵まれた堆肥の資源を利用しての増産であり、単位当りの投入量を増加することが基

確保件であることは御承知の通りであります。

量産と共に折角の堆肥の質の改善については特に格段の努力が望ましく、水分の不足、切返し不足、堆積場所及び堆積方法の悪いもの等例年云われる事年々改善の跡のあまり認められない事は遺憾であります。

又、野外堆肥については、肥料分と云う事は殆んど念頭になく切こづみ、放任の状態であり、以上の事柄は多くの努力と肥料分を無駄にしていること云つても差支えない有様であり堆肥を作るといふ觀念に於て折角の貴重な資源を活用される努力が望ましいと思われまふ。家畜の尿溜の設置については相変らず増加のあとが認められず、毎日生産される莫大な肥料分を流出又は放出していることは此の際真剣に考へて戴きたいものです。

四、園芸農産品

例年のことではあります。秋の産業祭で園芸農産品は陳列出品物中の白眉であると云つても過言でない存在であり、その出品物も玉葱、白菜、人蔘等特に高冷地としての奨励普及の価値のある換金のなものが逐次増加の一途を通り、亦農山村の生活改善の基盤である家庭菜園の充実が窺われる様な蔬菜類の出品の飛躍的な増加も認められ、共にその栽培技術なり出品技術の向上の跡が認められたことは喜ばしい次第であります。

秋野菜栽培の大事な時期に台風十二号の被害を受けた関係もあるでしょうが、五ヶ瀬町産業祭としてはその出品点数の少なかつた事と、出品物中特に牛蒡、葱、かんらん等見るべき出品物の極めて少なかつた事は必ずしも台風の被害のみでは片付けられない淋しさを感ぜさせられました。

次に各種類別に感じました事の要点を述べてみましょう。

一、白菜

直後に於ける急冷のために成育の停滞と相俟つて病害の発生を見たために出品されたものの中でも上位入賞を除いた以下は可成りの品質低下が認められた様であります。また、上位入賞のものも多くが防風対策についての努力が払われ、特に台風直後の積極的な肥培管理と、病害防除の効果の賜と云つても過言ではなくお互いに高冷地白菜としての産地を安定させるために見逃してはならないと思ひます。

また中位程度のものでついても結球の緊度の大変良いものもかなり有つた様であります。如何にせんその株張りといふ肉質の厚さと云い肥料不足(特に堆肥)特に成育後期に於ける肥切れの状態が認められたのであります。等々の事は反収の増加の上からも亦対病性の上からも注意を要すると思ひます。

おそ蒔の結球の緊度の悪かつた事は一に急激な気温の低下によるものであつて、已むを得ないでしょう。

二、甘かん

台風十二号の影響が大きなく目ばしい品物の出品されなかつた事は残念であります。したが、昨年(三十年)の甘藍の価格の下落による栽培面積の低下のあふりも大きかつたと思ひますが、品種と播種期の組合せによつて出荷を有利な時期に導く事が出来、高冷地の甘藍は可成り安定した換金価値のあるものとして充分考慮する必要があると思ひます。と同時に家庭菜園から見ましても品種の組合せによつて周年栽培が可能である事、再認識していただきたいものであります。

三、ホーレン草

家庭菜園には欠く事の出来ない有野菜である事は御承知の通りであります。が、今回の出品された物から向上の跡の認められなかつた事は残念でありました。鮮度を生命とするホーレン草に著しく鮮度の落ちたものがあり、また窒素質肥料

の偏用によつて軟弱に過ぎたもの、越冬蔬菜の立場から考へて播種期の早過ぎたもの、あるいはある物等が見受けられたのであります。家庭菜園の面から利用の時期を考へ何回かに分けた播種がなされる事が最も好ましいと思ひます。

四、大根類

台風十二号の影響があつたとは云へ上位入賞の沢庵用の理想大根には太さと云い、品質と云い可成り秀れたものがあつたが、上位のものを除いては、格段の質の低下が見られた様であり、整地、施肥等に入念な技術を要すると共に、初期の害虫の防除も忘れてはならないと思ひます。

又煮食用の宮重大根に優品が見られなかつた事は昨年と同じく残念であり例年の極島も出品点数が少なかつた事は淋しい感じがしたのであります。聖護院蕪には可成り優秀な物が認められました。

五、にんじん

例年に見ない、質、量共に格段の向上のあとが認められ県出品物と比べて決して損のないものがあつた事は喜ばしい処であります。有野菜の王座である人蔘は家庭菜園に欠く事の出来ない事は云う迄もなく、販売用の蔬菜としても相当に価値のある物であり年々町内に熊本方面から輸入されている莫大な量に注意を向けていただきたいと思ひます。

出品物中にもうなづけた様に本町としては五寸又は三寸の系統を選ぶ事が土地の条件に最も良く適している事は常々申し上げている通りであります。

出品物の外観上から見ますと、耕土が浅く整地不充分と後期の肥切れにより、所謂尻すばりのもの(国分系のものに特に多い)が可成り多く見受けられた事は今後の栽培技術の面で研究を要すると思ひます。

六、ごぼう

本年は特に品質の低下が極端に認められた事は遺憾であり、天地返しの不十分と併せて、碎土の不完全、

施肥の不合理により膚が悪く極端に尻すばりが殆んどあつた事は、今後の牛蒡栽培に格段の研究努力が必要であり併せて適地適産の立場から大いに努力が望ましいと思ひます。

七、玉ねぎ

出品されたものは球の太さ、緊度、首のしまりと云い色沢と云い、非常に優秀な物ばかりであり品玉葱としては本郡の特産物として充分安定し得る価値のあることは云う迄もありませんが、本年度は計画の初年度でありながら全国各地の大豊作により青果市場界で著つて見ない価格の暴落を来したものであります。此の恵まれた条件を生かす為にはお互が産地として持ちこた得るか否かにあつていると思ひます。

八、ねぎ芋類その他

ねぎ類中には昨年同様優品は認められず、白根の長さ、茎のしまり青葉が軟弱でなく、みずくしさを失わない等、栽培技術の全般に亘り格段の努力が肝要であると思ひます。向ね芋類も町内輸入野菜中で多額を占めて居り、せめて町内自給の態勢を確立しなければならぬと思ひます。

芋類では里芋の品質は非常に良い事は例年でありましたが、品種の不明なことも亦毎年の事ながら残念であります。向、秋馬鈴薯に非常にすぐれた物がでいた事は今後の種子馬鈴薯を必ずしも北海道より移入の必要がなくなる事も考えられ、また、輪作の関係から大いに研究の余地があると思ひますので、その栽培法を機会を求めて発表されることを希望します。

その他換金作物としてコンニャクの価値は既に御承知の通りであり、シヨウウガ、山芋等も自給の確保が望ましいと思ひます。

五、農産加工

台所と直接つながつた日常食膳に昇らせ常に食味を考へ食生活の改善に務められている主婦の方々の丹精こめた出品物が多かつたの

で審査の上でも非常に苦勞致しました。醬油では風味、色沢、旨味等申し分のないものもあつたが反面カラ味強いもの、麴の出来が悪いもの、熟度が若いもの等ありましたので、その点充分考慮の上来年の出品をおねがい致します。

味噌、何と云つても日常農家で必要な製造量の多い麦味噌の良否が食生活の上に、強く響いて来ます。然し乍ら、原料の割合で大豆の量が少い味噌も見受けられました。大体麦に対して大豆は同量が標準です、中でも金山寺味噌等々考えられたのも見受けられた様です。味噌漬が特に多かつた様ですが、味噌漬は別に技術がいらず味噌麴の出来不出来で良否は決定致しますので、之に対しての批判はさけます。

柿類

干柿は例年の事乍ら乾燥不十分な為色沢(アメ色)が不足でした。甘柿は富有が多かつたが、やはり寒い所では無理でシブが充分抜け切れませんでした。早生富有等が適当ではないかと思つています。

保存食その他

ピーナツバターや保存食等あり大要考えてあるので感心致しましたがこれらの物が日常食膳に昇つていれば大要結構な事です。今後農産加工は、農家の必需調味料と創意工夫された保存食等に重点を置き度いと思つております。

六、工作品

例年と変らぬ出品物であり取立て、述べる程の事はないが農家で日常使用している唐人かき、竹製品、ホウキ等、進歩の後が見られない。今少し、三ヶ所名産品として価値のある工作品を考案して戴き度い。

七、雑穀

豆類雑穀の不作年とは云え、出品点数は多かつた。特に群を抜いていたのは本年から普及を始めた落花生でありましたが収量もそうとうあるので農家の食生活改善上今後特に力を入れて

奨励しようと考えています。用途は非常に多く、味噌醬油の原料を始め落花生、トーフ、ゴマの代用、ピーナツバター。その他数え切れない加工法があり前途洋々です。

品種の問題では本年は天候が良かったので早生の晩生である、サウザンクロスが順調に収穫出来ましたが、来年はこれより未だ早くして多収な干葉少粒を取り入れ、搾油まで致して見たいと思つております。

栽培法は直播よりも催芽育苗して、一株一株定植する方法ですが、未だ落花生

葉たばこ審査報告

五ヶ瀬町駐在指導員

佐藤 忍

葉肉、組織、光たく、色たく、弾力、の五項目により達感的審査を実施したの

五ヶ瀬町行政地域区分一覽表 (昭和三十一年一月一日現在)

去る鞍岡地区、区長、組合長会、三ヶ所地区、区長、班長会で左の通り行政地域が区分され、区名番号で呼ぶことになりました。

区域名	地 域	総戸数	部 落		合
			部 落	部 落	
第一区	大字三ヶ所坂本	二六〇	一四	尾原、奈良津、谷下、長迫、長原、一の瀬、大石、坂下、荒谷、狩上、坂下、荒谷	
第二区	全宮之原	九九	七	戸川、原一、原二、原三、原四、上中村、下中村	
第三区	全中央	二二二	一四	赤木野、兼一、兼二、赤一上、赤一下、赤二、高下、赤四、赤五、赤五ノ二、高畑下、公宮住宅	
第四区	全廻端	一六三	一三	立壁東、立壁西、高畑、戸の口、古園、大崎、廻端日向、廻端日陰、尾迫、古賀川曲、岩神東、岩神西	
第五区	全室野	七三	六	室野、室野日向、室野日陰、八重所一、八重所二、越次	
第六区	大字桑之内	一三五	八	西、辻、久保、中山、宮原、陣、馬場、横通	
第七区	全中組	七八	六	黒板、下赤、北の迫、上赤、興地、小半田	
第八区	全下組	九一	八	土生一、土生二、波畑、下山、鳥越、麦の崎、柿の尾、栗の谷	
第九区	大字鞍岡原尾野	八九	八	揚、萩原、原尾野、スクナ原、道の上上道の上中、道の上東、道の上西	
第十区	全原尾野	一一四	九	笠部、寺村、東光寺、中園、中村、丁子、協和、大石の内、長崎	
第十一区	全日向	一九五	一六	長崎、深谷、折立、矢野園上、下、祇園東、元、中、上、下、宇の八重、小川	
第十二区	全倉本	三八	四	古賀、東、西、倉本、一の瀬	
第十三区	全水本	六五	六	大平屋東、西、渡瀬、上、下、荒谷、大平中入	
第十四区	全本屋敷	七五	四	本屋敷東、西、波畑上、下	
計		一、六八七	一二三		

九点計五十六点選抜したのであります。

ところで審査の状況を申し上げますならば、一般的に青褐色が強く窒素過多収穫が晩れ過熟系統が多く皆御承知の通り世の中は一般的にすべての物が品質主義に走りたばこに於ては特にその傾向が多分にありますので、兼ねて申上げております様に今少し窒素分を控ええ向、収穫を早め特に乾燥枠の増設を計り、黄変後の地干を早く今少し地干の回数を増やすことが先決問題と思ひます。

本年は御承知の通り本町より選抜したる松川葉本葉の優等標本が通過致しましたことは誠に本町の名譽であり誇りであります。この名譽をけがさぬ様本町の松川葉の名産を益々高めて戴きます事を望みます。

鞍岡地区町政座談会

—十二月五日から毎夜十日間—

町政座談会は町内各部落に於て、引つゞき三ヶ所地区を新年早々に行う予定でありますが、鞍岡地区では、去る十二月の五日から毎夜十日間に亘つて座談会を行いました。各部落では、出席も非常によく、熱心な質問討論も行われ、当局としても種々参考になる事が多く、御世話になりました。部落の皆さんに心から御礼を申しあげます。どうぞ今後とも、町長の方針として、納得づくの町政による明るい町づくりを念願としておりますので、打開けた御相談や御意見を御聞かせ下さるよう望んでおります。御意見がすべて全体として妥当であるか否かという点で、直ちに御返答できかねる場合もおこり得るわけですが、当局としては、皆さんから出た皆さんの御意見を参考にし、町政の上に反映させて行きたいと考えておりますので宜しく御願ひします。

×

×

前略、御免下さいませ。今宵は町長様はじめ町の吏員の皆様御揃ひにて此の御寒い中に、町政をよりよくせんがための座談会をおひらき下さいまして本当に心から感謝申し上げますと共に誠に私達、鞍岡地区住民のために御苦労様でございます。十幾年か前の戦争中ならばいざしらず、自由主義を唱える国民となりまして、町役場の皆様と私達住民とに何のへだたりもなく、膝を交えてお話あいの出来たことが今までにありませんでしたでしょうか。現在までは、役場の吏員

はあくまでも役場の吏員であり、私達町民は唯町民であるばかりではなかったでしょう。少くも手を取り合つて町政に尽力せなければ等々考える人は本場に少かつたように思えてなりません。このような意味あいにはさましてもこの度の町政座談会は町民と、町役場の皆様との少しのへだたりもなく話しあいが出来ました事は、一つの大きな壁を打ち破つて戴いたものだと思はせ、誠にうれしく思ひます。誠につたないペンをとりました。

本場に町当局といえども、この様な大じかけの座談会を持たれるに就きましては、さぞかし困難もあつた事だろうと深く御察し申上る次第でございます。この後も益々住民の声を聞きながら誠に御苦労が多い事と存じますが、地についたところの町政をやつて戴きますようくれぐれもお願ひ致します。

私達住民も本場に今宵の御言葉を決してあだにする事なく御答へすべく努力に努力を致します。何卒御指導を心から御願ひ致します。

唯今午前一時です。

感激のあまりお寒い中にようやく帰りつかれた頃だろうと心から御案じ申しながら乱筆をかえりみず書いてしまいました。何卒御許し下さいませ。婦人と青年が少く誠に申し訳ありませんでした。この後はこの様な事のなき様氣をつけたと思ひます。皆様御寒さきびしい折柄何卒御愛下さいませ。かしこ

霜おりてたつまい

きびし寒極

鞍岡の一婦人より

原田町長様

外御一同様



※町政の基本方針はひろく、あまねく皆さんに御知らせするのが、わたくしどものつとめです。

※この度ようやく「広報ごかせ」を発刊する運びになり、おくれしましたことを御わびします。実は町長就任が九月、予算編成が、十月、その間には十五号台風の脅威におびえたりで、新町の足どりは無事と云えは無事に、新正月を迎え、二年目に入つたわけですが、むしろ本格的な五ヶ瀬町としての出発はこれからであらう。

※こゝに三ヶ月県内外でもようやく、五ヶ瀬町の名前が、前おきなしに通るようになったが、やはりまだまだ、役場に來る手紙や文書にも要てこなのがありま

す。考えて見ればそれもその筈でまだ三ヶ月の赤ん坊だから無理もないことだ。※然し乍らこの赤ん坊も大人と同じような抱負も理想も持つており、一人前以上の仕事や事業をして行こうとするのであるからそこにはいろいろの矛盾やトラブルはにえない。

※自治大学長さんの話に、一つの自治体を自動車にたとえるなら、ボデー即ち車体は組織であり、ガソリンは金、運転手は組織を運営する人である。

※勿論高級車にはよいガソリンが必要だし運転も技術を要するであろう。よつて実用車に切りかえて、高率の運用をしなければならぬ。それが今日の地方自治に与えられている課題である。

※福祉国家としてのねらいは、もつと突き進んで住民へのサービスと、幸福を

増進することである。意識の近代化、組織の近代化は明るい町づくりの前進方向として考えられることである。

※然し乍らそれも性急に

なりすぎると自治体はガソリンのない高級車に乗りかえることになつてしまう。現実と理論のギャップミズをなるべく狭めて行くように、たえず漸進的に、明るい町づくりは期さねばならないことが考えられる。ガソリンと運転者の効用がまず大切だ。

※わたくし達の郷土はあくまでもわたくし達の郷土でガソリンが尽きて、外の郷土に住みかえるわけにいかない。長い目で住みよい郷土にしたい。健全財政の確立が呼ばれるのはこの所以であつて、これはみんなの皆さんに理解して貰わなければならないことでしょう。

※民主主義行政はもとと金のかゝる行政だと言われるが、金のかゝるところを時間にかゝて行くより仕方がない、三ヶ月の五ヶ瀬町が充分な栄養をつけて体力が出来上がるまで、町民でこれを盛り立てるように努力していきたいものである。

※「広報ごかせ」はあわただしい年の瀬に望んで集録されたので、内容が生硬にすぎ、興味にとばしい点は御容赦下さい。

※荒々しい冬の厳しさの中にもソツト来る春日のような冬日さしの美しさがある。裸木の枝の線の美しさ

が空の青に浮きあがつて見える。冬の厳さに耐えてなお美しい自然の妙をたゞえたい。とある町内の人の句をかりて。

桐の木の手となりて

冬日濃く

S・T

謹賀新年

昭和三十三年元旦

五ヶ瀬町役場

外職員一同

五ヶ瀬町議会

外議員一同

五ヶ瀬町教育委員会

外職員一同

五ヶ瀬町農業協同組合

外職員一同

五ヶ瀬町農業委員会

外委員一同

五ヶ瀬町消防團

外団員一同

五ヶ瀬町選挙管理委員会

外委員一同

五ヶ瀬町民生委員一同